暴発弾に当り即死

桃井キャンプ オンリーさん米軍人に

529年 12月10日(金)

九日夜十一時五十五分ごろ北群馬郡桃井村新井米軍第八騎兵大隊正門前で日本女性が誤つて射殺された事件がおきた。

渋川署の調べによると同夜軍用車中隊リンドセイ伍長(三)が立哨中ハイヤーで乗付けた同軍第八工兵C中隊コールス一等兵(三)が愛人の岡村南新井樣名狂化粧西坂文子さん(二)を同伴して入門しようとしたが女にパスポートがないので入れる入れないで口論となり、リンドセイ伍長がコールス一等兵を銃で殴かくしようとしたところ暴発、弾丸は約二坪離れていた西坂さんの背中から胸をつらぬき西坂さんは即死した。死体は米軍側が前橋市日赤病院に収容十日午後渋川署員立会いで解剖する。なおCIDではリンドセイ伍長を小泉キャンプに連行並びに事樣を調べている。死亡した西坂さんは北海道札幌市上石町の生れで両親はなく実家には兄黒二さん夫婦がいる樣名狂マダム桜岡憲夢子さんの話西坂さんは九月二十日から私の所へ下宿コールス一等兵のオンリーでした。ふだん無口で表面はおとなしげだつたが妙におすましやで相当な発展家のようでした。夜十一時ごろぐでんぐでんに酔つたコールスさんが起しにきて二階でなにか話合つていたようでしたが間もなく二人して玄関をあけ放しのまま出てゆきました。その後のことはわかりません

岡村は米軍が駐留してからいろいろな事件が続発しておりこのため渋川署でも岡村へ巡査部長派出所を設置するほどで村民もこの点を強く抗議している。なお今回の事件に対して渋川署では真相を究明するため同夜のハイヤーの運転手を検挙している。

太田で21俵押収

太田署は九日夜九時三十分東武線太田駅発浅草行最終電車のヤミ米を俵詰め置去り米二十一俵、押えた。被疑者は手入れと知つて逃げたし一人も捕らなかつた。

調べは米軍の手に

桃井の暴發致死事件

12/11日

九日夜北群馬郡桃井村米軍キャンプ衛兵所前で岡村南新井樣名狂化粧人西坂文子さん(三)が立哨中の兵隊の事件暴発で射たれて死んだ事件について岡日小泉キャンプのガストン中佐、ジョンズ大尉と県佐藤外務課長が現地に急行調査した。

その結果、西坂さんが射たれて死んだところは確かに米軍キャンプの構設内だつたので、事件は米軍扱いとなつた。同夜西坂さんの連人コールス一等兵(三)が酒に酔つて西坂さんを伴つて帰隊、入門しようとしたが、外出許可証を持つていなかつたので立哨中の戦車中隊リンドセイ伍長(三)が入門を拒否口論となつた。

リンドセイがコールスを追かすつもりでピストルを構えたのでコールズがふん嚇、もつれて争つているときに暴発、そばにいた西坂さんに命中したもの。

米軍はすぐ救急車で西坂さんを前橋日赤病院に収容したが、背中から胸を貫ぬかれて、ことし病死した。西坂さんは函館生れで北海道札幌市に実兄がいる。補償は行政協定によつて行われる。

石川事件の證人喚問

強盗殺人、金九百万円の持逃げで地裁大田支部で無期懲役の判決を受けた元大田警察署部長石川朝実(三)この控訴審をめぐる東京高裁、同高検の実証検証は十日行い、証人として地裁大田支部で石川の妻千代子さん(三)ら元同僚の警察官部長ほか一名の証人喚問があり、二十二日再び証人を喚問する。この控訴審は明春早々結審となり判決の見通しである。

1953年

危ない相馬ヶ原の爆弾拾い

もてあそび3人死傷す

付近住民に厳重警告

相馬ヶ原演習場の不発弾拾いに伴う危険については、関係当局が付近住民の注意を喚起していたが、一月三十日と二月一日に、恐らく拾ってきたと思われる不発弾で、即死一名、重傷二名の事故が二件あったので、さらに注意を求めている。

一日夕方五時二十分ごろ、群馬郡相馬村柏木沢、農業、松本豊次さん(ル)方居宅裏で、突然爆発音が起こったので、近所の人が駆けつけてみると、松本さんの左腕が吹き飛び、全身に破片を浴びて死んでいるので、南群馬署に届け出た。

同署の調べによると、拾った不発弾をいじっているうち、誤まって爆発したものと推測。

また、北群馬郡桃井村の十四歳と十六歳の少年は、一月三十日、同村新井の農家庭先で相馬ヶ原演習場から拾ってきたらしい、十センチ砲榴弾をイタズラしているうちに信管が爆発、二人とも全治二週間の傷を負う。

5.20年 1953

青年、撃たれて死亡

群馬郡相馬村広馬場、村上精一君(二)は二月十三日昼一時ごろ、相馬ヶ原演習場へ弾拾いに行き、弾丸の破片を拾っているうち次の射撃が始まり、逃げ遅れて破片が腹にあたり、重傷を負い手当てを受けたが、同夜十一時ごろ死亡。

(2・14)

農作物40町歩立枯れ

米軍の毒ガス かけ

箕郷町松ノ沢地区で

群馬郡箕郷町松ノ沢地区では、凍霜害に加えてまたしても耕地四十町歩(ヘクタール)が原因不明の被害に遭い、全滅寸前にあるという致命的災厄が起きた。

調査の結果、この原因は同地が相馬ヶ原演習場に近接しているところから、四月以来行われている米軍の演習に使われている、催涙ガス類などの毒ガスが流れ込んだものではないかと推定されている。

このため、同地の成長期にある桑、松、果樹類は大被害を受け、とくに五月十三日の春蚕の掃立てを目前に、いま地区民は不安におののいている。

地区民の話によると、米軍の毒ガス演習は、四月二十九日ごろから五月五日にかけて行われた模様で、この間前後数十回にわたつて毒ガスようのものが流れてきたと語っている。

とくに三回ほどひどい日があり、この日は畑で働いていた者ばかりでなく、家にいた人までもが吐気と涙でその場にいたたまれなかったとの話で、中には二、三日寝込んだ者もあったという。

(5・11)

12/12

"女が氣に入らない"

米兵特飲店で暴れ、放火

十一日午後四時半ごろ前橋市榎町特飲店しのぶと松尾まつさん(三)方に北群馬郡桃井村駐留軍桃井キャムプ所属ボー伍長といつて登楼した米兵が「女が気にいらない」と暴れたし、ウイスキーびん でガラス戸四枚を壊しマッチで障子に火をつけて逃走したと前橋署に届出があつた。同署ではMPと協力、器物損傷の疑いで捜査中。